

KIJIMA ORIGINALPARTS TECHNICAL SERVICE MANUAL



HONDA 2021y-NC750X/DCT(8BL-RH09/23)

エンジンガード(マットブラック)

<商品番号：405-2421>

作業時間：0.8h

【取扱説明書】



注意

取付け前に必ずお読みください。

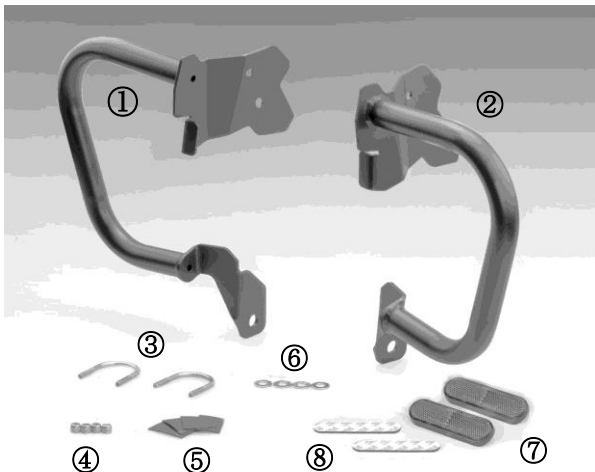
このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
作業にあたる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- ・取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- ・道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- ・運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- ・本取付け説明書に則った取付けを行う。
- ・本製品への加工を加えない。
- ・不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）
どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

≪ 部品構成内容 ≫



部番	品名	個数
①	本体 右	1
②	本体 左	1
③	U字ボルト	2
④	ナイロンUナット	4
⑤	ゴム板 40×25mm×1.0t	4
⑥	平ワッシャーφ18×φ8.5×1.2t	4
⑦	サイドリフレクター アンバー	2
⑧	両面テープ	2

..... 本製品取付けに当たっての注意点

- ※ 本製品は HONDA 2021y- NC750X / DCT (8BL-RH09/23) に適合します。
- ※ 2025y モデル以降への取付けにはサイドリフレクターの装着が必須になります。付属をご使用ください。
- ※ 本製品は軽微な転倒でエンジンへのダメージを最小限にする事を目的としておりますが、転倒の条件/程度によってはその限りではありません。予めご了承ください。
- ※ 本製品を取付けるにあたり、フレームの塗装が傷付きます。必要に応じ表面の保護をしてご使用ください。
- ※ 本製品を車両の牽引等に使用しないでください。
- ※ 作業中に車体が倒れたりして危険ですので、作業は水平な場所で車体を安定させて行う事。
- ※ 純正部品の取外し/取付け、ボルト/ナットの締め付けについてはメーカー発行サービスマニュアルに基づいて、確実に行ってください。

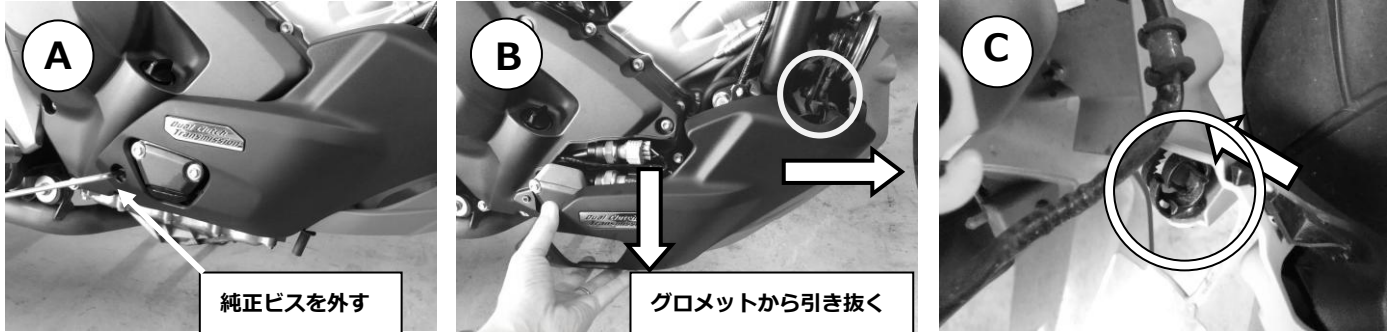
<取付け方法>

本文中や図中に出てくる部品は前ページの部品構成内容表に対応しています。

※注意：

必ず片側ずつ作業を行ってください。(左右のエンジンマウントボルトを同時に外さないでください。)

●エンジンガード右側の取付け ※写真は DCT 車ですが、STD 車も同様です。



1、純正ボルト2本を取外し、前方に引き抜くようにして純正のアンダーカバーを取外します。

この際に、カバー内側で配線を固定しているクランプを解除します。

(写真A/B/C参照)

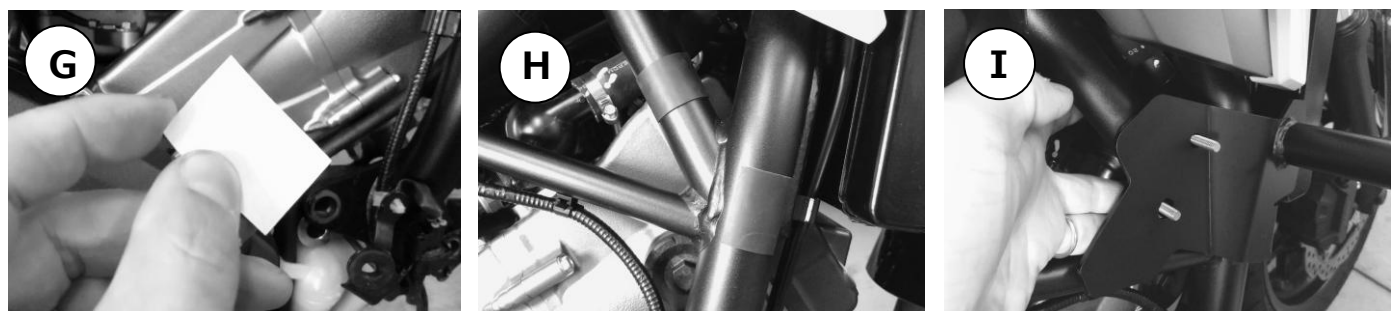


2、ホーンステー、アンダーカバーステーを固定している純正 M8 ボルトを外します。

(写真D参照)

3、純正エンジンマウントボルトを外し、本体①をホーンの配線の下を通してエンジンマウントボルトで仮固定します。

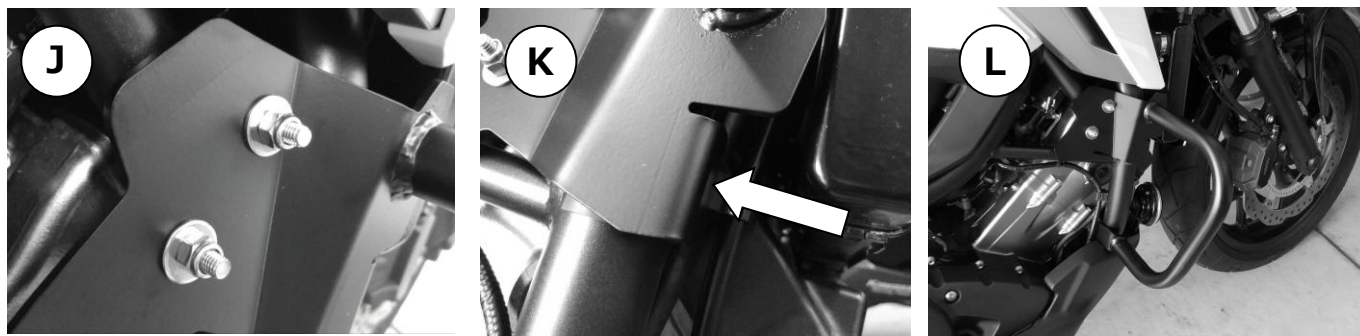
(写真E/F参照)



4、傷防止のため付属ゴム板⑤をフレームパイプに張り付けます。写真Hを参考にして片側2カ所ずつ張り付けます。

また、付属 U 字ボルト③をフレームパイプの裏から本体①ステーの穴を貫通させます。

(写真G/H/I参照)



- 5、貫通させた U 字ボルト③に付属平ワッシャー⑥/M6 ナイロンロックナット④を締め付けて固定します。
U 字ボルト③を均等にナット④で締め付けて下さい。※締めすぎてネジ切らない様に注意してください。
(写真 J 参照)

※エンジンのマウント位置が個体差で違い、U 字ボルトがエンジンに干渉する場合がございます。
その際は U 字ボルトを削るなどして調整してください。

- 6、ステーの矢印部裏面をしっかりとフレームに押し当てて、締め付けてください。(写真 K 参照)
- 7、仮固定してあった純正エンジンマウントボルトを正規の締め付けトルクで締め付けます。

ボルト締め付けトルク・54N・m (5.5kgf・m)

- 8、取外しと逆の手順で純正アンダーカバーステー、ホーンステーを固定します。

※左側も右側同様に取付けてください。

(注・左側はホーンステーがありません。アンダーカバーを取外したらエンジンマウントボルトを取外してください。)

- 9、左右のエンジンガードの固定が終わったら、純正アンダーカバーを取り付けて完了です。アンダーカバーは本体ステー部に押し付けるようにして穴位置を合わせ、1 で外した純正ボルトで固定してください。
(写真 L 参照)

[ご注意]

※取り付け時には下部ステーとアンダーカバーの端面、上部ステーとフレームパイプ面が強く押し当てられますので、予めご了承ください。

気になる場合はアンダーカバー端部を数ミリカットするか、保護テープ等で接触部を養生するなどしてください。

※本製品をご使用中、転倒による車体のいかなる破損についても一切保証は出来ません。予めご了承ください。

※最後に各部の増し締めを行なってください。

サイドリフレクター装着に関しては次ページを確認してください。

[サイドリフレクターの取付け]

※2023年9月以降の型式認定車はサイドリフレクターの装着義務がございます。



a、当製品を2025年以降モデル(8BL-RH23)に取付けた際に純正のサイドリフレクターを隠す状態になります。そのため純正のサイドリフレクターを取外します。

(写真 M 参照)



b、付属のサイドリフレクター⑦の裏を脱脂し、中心に付属の両面テープ⑧を貼付けます。(二つとも)

フロントフォークのアウトチューブを綺麗に脱脂します。

取付け位置はフロントフェンダーの上下取付けボルトの間に収まるようにします。

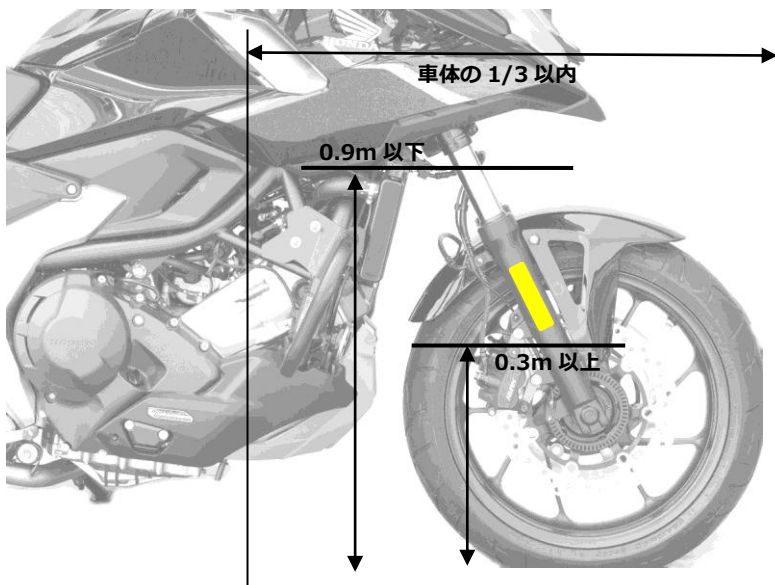
(写真 N 参照)



c、脱脂をしたアウトチューブに先ほど両面テープを貼付けたサイドリフレクターを真横から見た際に正面になる様に貼付けます。反対側も同じ位置に貼付けて終了です。

(写真 O 参照)

[取付け条件]



●取付け位置：

車体前方の左右、または後方の左右。

車体全長の前方 1/3、あるいは後方 1/3 以内

●取付け高さ：

反射器の下縁が地上から 0.3m 以上、上縁が 0.9m 以下。

●見通し条件：

中心平面から上下 15°、左右 30°の範囲からすべて見通せる事。

モーターレク総合開発メーカー

株式会社

キジマ

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.,ltd.

www.tk-kijima.co.jp

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL. 03-3897-2167 FAX. 03-3897-2138